

### 八木駅舎ならびに陸橋の改修事業は

#### 3月にJR西日本と協議を進める

市長



南風クラブ 廣瀬 孝人 議員

**問** 当初予算の3200万円は、八木駅舎周辺整備事業の調査費であり、地質調査の実施や駅舎の設計図の作成に使われると聞いている。また、バリアフリー新法の見直しにより、その要件を満たしていることから、市民の関心が高まり、

駅舎改修をふくめた工レベータ付き陸橋の早期実現を望む声があるが、図面の完成時期や事業実施の時期と計画の進捗よく状況は。

#### 商店街の活性化策は

**市長** 8月にJR西日本コンサルタンツ(株)と委託契約を締結した。敷地内の地質調査および駅舎東口に関連す

る駅前広場の現況について測量調査を終えた。24年3月以降にJR西日本と協議を進めていく。

**問** 合併時にくらべ、各旧町の商店数は減少してい

**市長** 空き家対策は、一つの商業活性化・地域活性化

に大きな利点がある。十分研究し、商工会や商店街の皆さまと連携して知恵を出し合い効果的な施策を、十分に協議や相談をしながら取り組んでいきたい。



花のまち商店街(八木町)

高野

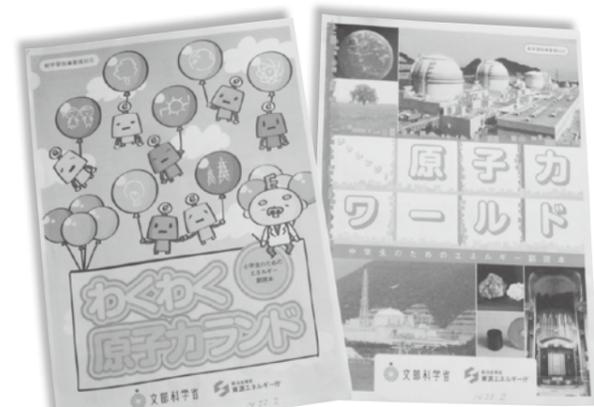
### 原発からの撤退表明を

#### 国の根幹に関わる問題、国の責務で

市長



日本共産党市会議員団 高野 美好 議員



原子力に関する「副読本」

**問** 原発の致命的欠陥は、使用済み核燃料を安全に処理できないことにある。そのために「トイシなきマンション」と言われている。人類

と共存できないリスクを抱える原発からの撤退の立場に立つべきだと考えるが。

**市長** エネルギー問題は国の根幹に関わる問題である。この課題は、国の責務において対応するべきだと考える。

**問** 原子力に関する「副読本」が22年に発行されている。「原発は、放射性物質が外に漏れないよう、5重の壁で守られている。異常が発生しても事故にならな

性化はそう簡単なことではない。市職員がしっかりと集落に張り付いて、集団での取り組みが必要だと考えるが。

**市長** 職員の地域担当制の提言をいただいている。今後の検討課題だと認識している。

森

### 市の課題解決に向けて市長の出番は

市長



丹政会 森 為次 議員

#### 市のトップとして先頭に立って努力

**問** 八木駅舎、園部駅前広場整備、園部以北複線化促進など、JRに対して早期着工に向けての対応は。

**市長** まだ条件提示までいっていないが、今後の交渉のなかで明確にしていきたい。

**市長** 住民の皆さまの強い要望であり、常にトップとして先頭に立って努力する。

**問** 今年4月に市役所組織改編に取り組みしたが、現状での成果は。また国民文化祭も盛大に開催された

が、ものづくり事業とあわせ今後のまちづくり施策は。

**市長** 先を見た事業推進と市民の利便性の向上が基本姿勢であり、徐々にではあるが実を結びつつあると認識している。事業者、生産者、府とも連携を深め、も

め検討中。

**市長** 農地・水・環境保全向上対策が最終年を迎えるが、成果および評価は。

**市長** 107の組織で取り組みをいただき集落の機能維持や農地等の保全管理、環境保全など共同活動で継



耕地が広がる志和賀(日吉町)

山下

### 課題解決に向け大学等と包括協定を

市長



山下 秋則 議員

#### 互いのニーズを踏まえ連携を強化

**問** 総合振興計画に掲げる市内

直していく。

大学等との連携の現状、課題

**市長** なかなか難しい。現状を認識し、見直すべきところは見

い形がいいのか、とも思う。

**問** 形について考えるより、市が抱える重要課題解決に向け、大学等の資源を

**市長** 学生に定住してもらうことは大きな課題。学生との交流、まちを知ってもらうことがまず肝要。

は。

**市長** イベントやさまざま

な事業など個々に連携している現状からして、包括と

**市長** 総合振興計画では学生に住みやすいまちづくりとあるが、施策の現状は。

**市長** これまで実施したこととは異なる。基礎的な情報を収集するためにも取り組んでいかなければならない。

は。

**市長** 学生の活力を生かしたまちづくりに向け、学生に

対する早急なアンケートの実施を指摘する。

**市長** 学生の思いや定住への課題を市としてしっかりと把握するためアンケートなど実施したことはあるのか。



今春、開校予定の京都美術芸工科大学

な事業など個々に連携して

いる現状からして、包括と

らうことがまず肝要。

らうことがまず肝要。